

懐かしい写真

わが家の狭い書斎を定期的に整理している。不要と思われる資料を整理しなくては、せっかくの貴重な資料も発見できなくなる。一昨日すこし片づけていると、懐かしく、貴重な写真が出てきた。部屋の片づけ、資料の整理には、こんな楽しみもある。嬉しくなり、紹介したくなった。

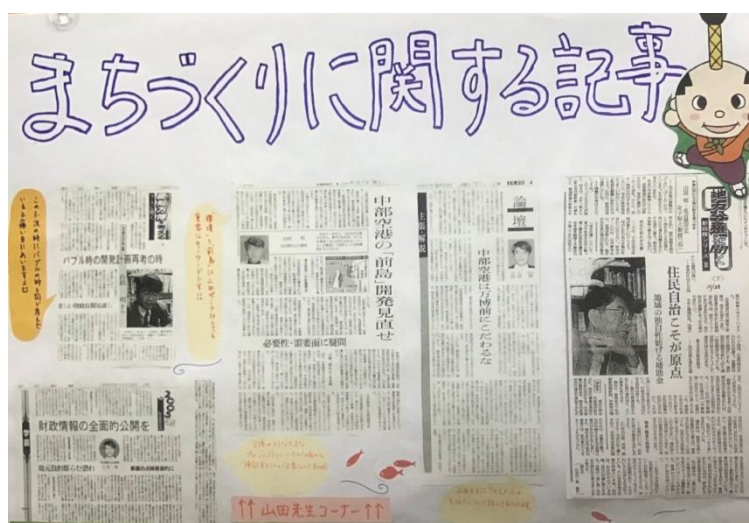
最初の2枚は、伊勢湾研究会で伊勢湾・三河湾を2日にわたり漁船で回ったときだ。1992年8月であり、今から30年前になる。伊勢湾の常滑沖でNHKから取材を受けた。中部空港建設が議論を呼んでいたころだ。船が揺れるので怖かったが、夕方のニュースで放映された。私にとって忘れられない写真である。次の写真は伊勢湾の漁業者として案内してくれた坂口久巳さん。伊勢湾や漁業について多くのことを学んだ。私も編者の一人である『国際化への空港構想』大月書店、1993年に「漁業者のみた伊勢湾」を寄稿している。坂口さんは残念ながら事故で若くして亡くなった。あらためて坂口さんに感謝したい。伊勢湾・三河湾は自然を感じさせる一方で、開発の波も目についた。



次の「まちづくりに関する記事」は名古屋市立大人文社会学部オープンキャンパスの「山田ゼミ企画」で展示された写真だ。地方分権、中部空港、愛知万博をテーマに朝日新聞に寄稿、インタビューした記事をゼミ生がきれいにまとめてくれた。この写真を久しぶりに見て、若いころは地元の新聞によく登場していたと思う。

写真の右から2つ目の論壇「中部空港は万博前にこだわるな」は全国版であり、英字新聞にも掲載された。愛知万博についても、構想段階から辛口の発言をしていた。テレビでも夕方のニュースで、よくコメントしていた。

当時の名古屋のマスコミは空港や万博などを足もとから取材し、幅広く伝えていたと思う。大阪に転居してから、万博やIRカジノについて発信しているが、マスコミはあまり関心がないかのようだ。



(2022年5月31日)